

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

令和 7年1月24日

協議会名:南城市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域公共交通調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画の整理 ・移動ニーズの把握・整理 (市民アンケート、学生のニーズ調査、人流データ等) ・交通に関する先進事例の収集及び視察 ・公共交通とまちづくりに向けた取組検討 ・協議会の運営 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートを紙媒体とWEBの併用で実施し、市民の目的別の移動状況や、公共交通の利用状況、評価や要望、将来の移動に対する不安等を把握した。 ・市内居住の小中高生を対象に、WEBでアンケートを実施し、登下校の手段、送迎の状況、登下校以外での移動状況等について把握した。 ・両調査とも過年度も実施しており、属性や地域別、高校ごとの分析に加え、経年変化の分析を行った。 ・先進事例として、岐阜市の市民協働型コミュニティバス、岐阜駅の交通結節点、バスまちば事業、自動運転等、松本市のエリアー括協定運行事業、キャッシュレス決済導入、ラストワンマイル地域支援事業等、について視察を行い、今後の地域交通の運用や改善にあたっての参考とした。 ・アンケート調査、視察等も踏まえ、次年度予定している本市の公共交通とまちづくりに向けた取組(講演会、ワークショップ等)の検討を行う。 ・なお、人流データは別途入手予定のデータが入手できなくなったため、今年度は整理しないこととした。(次年度での整理を検討中) 	<p>A</p> <p>本市の公共交通について検討を行うための基礎資料として、市民や学生の移動ニーズを把握し、また、先進事例を調査を通じて情報発信のあり方や、市民や事業者等との役割分担の考え方、交通と他分野との共創など、計画策定の方針や、計画目標、施策検討における新たな視点について把握することができ、事業の目的を達成できた。</p>	<p>公共交通の利用状況や、市民アンケート等で把握した移動ニーズと、現状の幹線バス(市外への路線バス)、Nバス(市内バス)、おでかけなんじい(デマンド交通)の運行状況とに齟齬がないかを確認するとともに、運転手不足(路線バスの減便、おでかけなんじいの運行時間帯見直し等)が続いている現状の中、新たなニーズへ(観光二次・三次交通、夜間の交通空白等)の対応のため、新たな移動手段の導入も見据え、Nバスを中心とした交通体系への見直しを検討する。</p>